

努力賞
(子どもの部)

「大すきな おじいちゃん」

荒川区立第九峡田小学校一年

新里 琉斗

やなぎだせんせい、こんにちは。せんせいには、おじいちゃんのおもいがありますか。ぼくは、このおはなしをよみ、だいすきなおじいちゃんにあいたくなりました。

このおはなしは、こうくんたちきょうだいが、けがをしたおじいちゃんのために、きょうりよくして大りょうばたをつくり、はつ日でのなか、それをふって、おじいちゃんをばげますというおはなしです。えのなかのこうくんは、おもいはたをふり

ながら、とてもうれしそうなかおをしていました。それをみたおじいちゃんも、とてもうれしそうでした。こうくんたちの、おじいちゃんへのあいじょうがよくつたわってきて、とてもあたたかいきもちになりました。

このおはなしのなかで、ぼくがいちばんすきなところは、おじいちゃんがこうくんのゆびに、わざとくわがたのつのはさませたところです。おじいちゃんは、よわむしのこうくんに、がんばるきもちをおしえたかったのだとおもいます。こうくんは、おとうさんがいなくてかわいそうだけど、このおじいちゃんがいつもそばにいてくれて、しあわせだとおもいます。あいじょういっぱいそだててくれたから、さみしくはなかったとおもいます。どのページからもこうくんたちがぞくへのあいじ

ようがつたわってきました。

ぼくのおじいちゃんも、とてもやさしいひとです。ぼくをつりにつれていってくれたり、バイクのうしろにのせて、いろいろなところにつれていってくれたりします。いろいろなことをたいけんさせてくれるおじいちゃんのことを、ぼくはだいすきです。

そんなおじいちゃんが、けがをすることなどそうぞうできないけれど、いつか、こうくんのおじいちゃんのようにけがをしたり、びょうきになったりすることがあるかもしれません。そのときは、ぼくもこうくんのように、ちからいっぱいおうえんしてあげたいとおもいます。でも、なるべく、びょうきやけがをしてほしくないのです。こんどあったら「からだをたいせつに、ながいきしてね。」

とつたえようとおもいます。やなぎだせんせいも、どうぞおげんきで、ながいきしてください。